## <sup>令和7年度</sup> 人権教育全体計画

沼津特別支援学校 伊豆田方分校 〇日本国憲法 学校教育目標 〇教育基本法 生徒の実態 『共に育てる自立と輝き』 〇学校教育法 家庭の実態 キーワード 確かな『つながり』 〇人権教育の指導 地域の特性 子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する 方法のあり方に 保護者の願い ついて 教師の願い 〇世界人権宣言 重点目標 ・ 人権尊重の意識に基づいた、生徒が安全に安心して学習できる学校 ・深い生徒理解に基づいた、キャリアを踏まえた指導及び支援ができる学校 ・地域や関係諸機関等との強いつながりに基づいた、共生社会を推進する学校 チームとしてのやりがいに基づいた、効率よく迅速に、業務を遂行できる学校 人権教育の目標 自分の良さが分かり、自分の意見や考えをもって行動し、自尊感 情を高めることができる生徒を育てる。 学年の目標(学級経営) 1年生 2年生 3年生 日々の振り返りや行 ・自分の長所、得意なことを ・仲間と互いの良さを伝え 知ることで自己理解を深 合う機会を大切にし、集 事、グループ活動を通 団生活の中で自分の良さ め、自己肯定感を高められ じて、相互理解を深 るようにする。 を生かせるようにする。 め、他人を大切にする 気持ちを育む。 道徳 教科 特別活動 その他の教育活動 ○生徒の命と人権を守る ○各自が自分の良さを知 ○学級行事の中で望ま ○地域や田方農業 り、仲間の良さを認め ることができる指導の しい人間関係につい 高校との共同授 取組の推進 て体験を通して学び ○生徒が心や体の健康等 業、交流授業等の 計画的な実践と の自己管理能力の向上 工夫 自他を尊重し社会に その成果の情報 を図る指導への取組 貢献する活動の工夫

地域・家庭との連携

発信